

なかつか 亮



4896筆の署名が品川区議会に提出

伊藤学園のプール 一般開放存続を



区教育委員会と品川区が、伊藤学園のプール一般開放を今年の5月6日より中止する問題で、利用者や近隣住民は「存続」を求める署名を品川区議会に提出しました。2件の署名は合計4896筆。「みんなが楽しみにしている学校プール利用をどうして中止するの」と、存続を求める強い声広がっています。

なごごごごごご
絶対おかしい！

納得できないの声

署名を提出した方は「突然の伊藤学園プール開放中止に驚きました。まさか？なんで？大人や子ども達はもちろん、健康づくりと高齢者も伊藤学園のプールを楽しみにしているのに、どうして中止するの。区の説明に納得できません」と訴えます。

の各会派に賛同を要望し、共産党は「おっしゃると通りです。存続させるために力を合わせましょう」と訴えに応えました。

文教委員会にて
署名は2月25日文教委員会が審査。区担当者は学校の説明に間違いがあったことを陳謝しつつ、中止の理由を「施設が増えてもプール利用者数は横ばい」「節電の為」「温度調節が上手くいかない」などと説明します。

予算議会開催中！

利用者が横ばい？

中止について区は「今まで通年利用のプールは荏原文化センター、戸越台中学校、日野学園で利用者は年間25万3千人。その後、伊藤学園、八潮学園、品川学園の3施設増えたが利用者は横ばい。だから伊藤学園のプールを中止しても、豊葉の杜学園と八潮学園で吸収できる」と説明します。

節電？ 温度調整？

さらに区教委は「東日本大震災と原発事故があり、国を上げての節電が必要。伊藤学園のプール中止で年間42万7千kW以上削減でき、光熱水費や委託料で3370万円経費が削減できる」と。また「ここはプール一般開放を始めた当時から冬

は寒く、夏は水温・室温が上がり暑い。水温をあげる熱交換器や室温を下げる空調機を増設したが改善されない」と説明します。

中止の主な理由は、この3点です。

中止はやめ存続を

理由は、どれもおかしな主張です。

隣の学校プールを使えば良いと説明しますが、忙しいサラリーマンはもちろん、子どもや高齢者は近所だから通う事ができるのです。身近な所で体を動かし、健康維持やスポーツを楽しむ事が、なぜダメなのでしょうか？

また節電と言いますが、節電とは無駄な電力をなくすことで、必要な電気を無くし「ガマン」することではあ

りません。ちなみに品川区は家庭用太陽光パネル設置について、今年度から助成額を10万円から3万円へ減額。結局、節電とは中止する口実にすぎません。

さらに室温や水温の温度調節がうまくいかないのは、学校プールを設計した区教委の責任であり、利用者に責任はありません。

経費削減が狙い

品川区の貯金（積立基金）は今年3月末で残高562億円。新年度予算は前年比5億5千万円の増額です。経費削減をしなければならぬ事業は、全くありません。全国一の「健全財政」は区民の暮らし応援にこそ。プール開放存続を強く求めます。

なかつか亮

3・10原発なくせ☆全国いっせい行動



国会周辺にて

3月10日の原発なくせ大集会には、国会周辺に4万人が大集合。品川からも大勢が参加しました。

プール存続を！署名賛成は共産党のみ

文教委員会では各党から区の対応を疑問視する意見が指摘されたものの、署名の賛成は共産党のみ。自民、民主、公明、無所属ら区議の反対で否決となりました。運動を更に広げ、議会を動かし、プール利用を存続させましょう。

次回の『気軽な町の無料法律相談会』のお知らせ

3月29日(金) 午後6時～8時 場所：日本共産党なかつか亮事務所
 弁護士と一緒に相談会を行います。生活のこと法律のこと、お気軽にご相談ください
 連絡先 昼：区議控室 5742-6818 夜：事務所 3773-3231